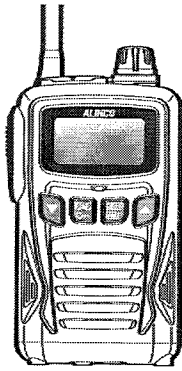
ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-PB27
取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

アルインコ株式会社 電子事業部
東京営業所 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
大阪営業所 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目3番6号 第3博多偕成ビル7階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間：10:00～17:00月曜～金曜（祝祭日及び12:00～13:00は除きます）
ホームページ http://www.alinco.co.jp/ 「電子事業」をご覧ください。

PS0811
FNEH-NG

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
⚠	⚠記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
⃠	⃠記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターをコンセントから抜け）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠警告・注意

■使用環境・条件

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

この製品どうし、または他のトランシーバーとともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型トランシーバーを運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。
運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。
病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。
トランシーバーを使用したことによって、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

電波を使用している関係上、トランシーバーの通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。
そのため、機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。

アンテナを誤って目などにささないようにしてください。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いてください。

マイク部にシール類を貼らないでください。相手に音声が聞こえなくなります。

このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。サイズ違いのアンテナに交換することはできません。

防浸保護には条件があります。
水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。故障の原因となります。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

水をかけたり、水が入ったりしないよう、また故意にぬらさないようにご注意ください。故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

イヤホン／マイクロホン端子にはオプションのイヤホン／マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

■充電器の取り扱いについて

充電器のACアダプターを、ACコンセントに確実に差し込んでください。ACアダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACプラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器のACアダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

充電器のACアダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

充電器のACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずACアダプターを持って抜いてください。

充電器のACアダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、違法ですから、絶対にお止めください。

■異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
■落としたり、ケースを破損したりしたとき
■内部に水や異物が入ったとき
■ACアダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

雷が鳴り出したら安全のため本体の電源をOFFにし、充電器をご使用の場合はACアダプターをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■保守・点検

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。
洗浄剤などを直接トランシーバーに吹き付けないでください。機器内部に浸透し故障の原因となります。

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源をOFFにして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、ACアダプターをACコンセントから抜いてください。

本体や充電器のケースは、開けないでください。
けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。
製造番号ラベルをはがさないでください。
製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

使用前のご注意

■ご使用環境
高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ご使用禁止場所
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など）

日本国内でのみ使用してください。
This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離
通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。
・海上、山頂など条件のよい所　：2kmまたはそれ以上
・河原など障害物のない平地　：500m～1km程度
・見通しのよい道、郊外の住宅地：500m程度
・市街地のような障害物の多い所：200m程度

注意 ローパワー時は、半分以下になります。

■外部保護性能について
防水キャップをはめた状態でIP54相当の防塵防水になります。ただし、常に水しぶきや海水、油脂、薬品がかかる環境や、鉄粉が飛散するような環境での使用で発生する不具合については保証しておりません。また、すべての製品を出荷前に検査してその性能を保証するものではない「相当品」ですので、水没、流水での洗浄は絶対におやめください。濡れたときは乾いた布で手早く拭き取り、電池を抜いて内部をよく乾燥させてください。防水素材は時間が経つと劣化しますので、弊社では外部保護性能についても製品と同じ保証期間とさせていただいております。

■バッテリーセーブについて
電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないとこの機能が動作します。信号を受信するか、キー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

■障害物
本機に採用されている電波の性質上、屋外では大きな建物や地形による影響を受けたり、屋内では壁や天井などを間にはさむと通話距離は短くなります。

■グループトーク機能の互換性について
グループトーク機能を使用する際、特定の番号において異なる機種との間で通話が途切れる場合があります。このようなときは違う番号を選んで通話をお試しください。これはグループトーク機能に使われるトーン信号の精度が、機種によってばらつくことによる相性のためであり故障ではありません。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3分制限（3分以上は連続で送信できません）

10秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計3分になると自動的に送信は停止します。中継通話の場合も連続した中継動作は3分で停止します。

注意 3分の通信時間制限により、自動的に送信が停止した後は、約2秒たたないと次の送信はできません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）

一定の強さ以上の信号を受信しているときは[PTT]キーを押しても送信できません。受信中に[PTT]キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ビープをOFFにしているとき、アラーム音は鳴りません。

付属品と取り付け方

付属品をご確認ください

□ベルトクリップ　□取扱説明書（本書）
□ハンドストラップ　□保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは、領収書・レシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

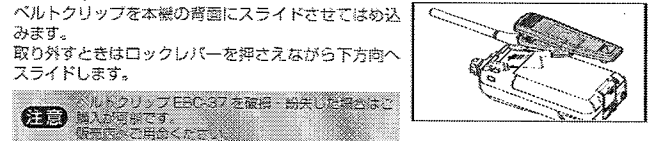
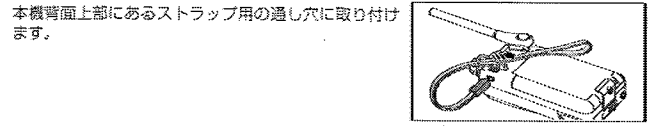
ベルトクリップの取り付け

ベルトクリップを本機の背面にスライドさせてはめ込みます。
取り外すときはロックレバーを押さえながら下方向へスライドします。

注意 ベルトクリップEBC-37を破損・紛失した場合はご購入が可能です。
販売店へご用命ください。

ハンドストラップの取り付け

本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。

電池の入れ方

①カバーを開ける
ロックを外してカバーを開けます。
②電池を入れる
＋／－の表示に従って単三形乾電池3本をセットします。
③カバーを閉める
カバーを閉めロックをかけます。

注意 種類が異なる電池や、新品と古い電池を混ぜて使用しないでください。
市販の単三形充電池はご使用になれません。
しばらく使用しないときは電池をトランシーバーから取り外してください。
電池を入れたままで液漏れすると修理できなくなります。
電池カバーやダイヤルツマミは補修部品としてお求めいただけます。
販売店へご用命ください。

充電池および充電器（オプション）

充電池、充電器および関連するアクセサリーは下記のとおりです。

ニッケル水素バッテリー	EBP-25NH（3.6V／800mAh）	リチウムイオンバッテリー	EBP-70（3.7V／1000mAh）
ツイン充電器セット	EDC-109J（充電約2時間）	ツイン充電器セット	EDC-158A（充電約2.5時間）
シングル充電器セット	EDC-115（充電約12時間）	ツイン連結スタンド	EDC-158R（充電約2.5時間）
		連結充電用ACアダプター	EDC-162
		シングル充電器セット	EDC-184A（充電約2.5時間）

業務用には継ぎ足し充電ができるEBP-70をお使いください。

注意 充電池は出荷時には充分に充電されていません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。
弊社の充電器は弊社製品専用です。市販の充電池を充電することはできません。
充電時はトランシーバーの電源を切ってください。

ニッケル水素バッテリーEBP-25NHの充電（EDC-109J/EDC-115）

①ニッケル水素バッテリーEBP-25NHを極性に注意してトランシーバーに装着します。
②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
④トランシーバーを充電スタンドのポケットに挿入します。
⑤充電が開始されEDC-109Jでは赤色ランプが点滅し、EDC-115では赤色ランプが点灯します。
⑥EDC-109Jでは充電が完了すると緑色ランプが点灯します。
⑦EDC-115では約12時間で充電が完了しますので、時間が経過したらトランシーバーを充電スタンドから抜いてください。EDC-115の赤色ランプは通電を示すものであり、トランシーバーを挿入しているときは常に点灯しています。

注意 充電器にトランシーバーを挿入してもうまく充電しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。

注意 EDC-109Jは保護回路が働いた場合、赤色ランプと緑色ランプが同時に点滅します。この場合バッテリーパックが正しく装着されていることを確認し、異常が見当たらないときは電池の寿命が考えられるため新品に交換してください。
ニッケル水素バッテリーを保存するときは満充電した状態で高温多湿を避けトランシーバーから取り外して保存してください。
また2～3ヵ月に1度は電池を完全に使い切って満充電するメンテナンスをおこなってください。
これを怠ると電池が劣化して充電できなくなることがあります。

リチウムイオンバッテリーEBP-70の充電（EDC-158A/EDC-184A）

①リチウムイオンバッテリーEBP-70を極性に注意してトランシーバーに装着します。
②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
④トランシーバーを充電スタンドの、前後いずれかのポケットに挿入します。
EDC-158Aは2台同時に充電することもできます。
⑤充電が開始され赤色ランプが点灯します。
⑥充電が完了すると赤色ランプが消灯します。EDC-184Aでは緑色ランプが点灯します。
⑦バッテリーパック単品で充電することもできます。
バッテリーパックの極性に注意して充電スタンドに装着してください。

注意 充電ランプの動作について
バッテリーが満充電に近いと充電開始を知らせるランプが点灯しないことがあります。
このようなときは、しばらくトランシーバーを使って残量表示が出たら充電してください。
これは過充電を防止する回路が働いているためであり、故障や異常ではありません。
充電器の前方のポケットではランプが点灯するが後方のポケットでは点灯しない、あるいはその逆の動作をする場合も、しばらくトランシーバーを使って電池を使い切ってから充電してください。
充電開始を検知する回路の個体差により、このような動作をすることがありますが異常ではありません。
リチウムイオンバッテリーは定格電圧（50%充電程度）での保存が推奨されています。
特に電池が減ったまま保存すると数ヶ月で充電できなくなることがありますので、定期的に通電して補充電するメンテナンスをおこなってください。

注意 充電器にトランシーバーを挿入してもうまく充電しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。

注意 充電器は他のトランシーバーと共用していることがあります。トランシーバーを充電器に装着しにくいときは、お互いのガイド溝がまっすぐになるよう合わせてください。

連結スタンドEDC-158Rによる充電

EDC-158Rを使用して連結充電する場合、必ず大容量のACアダプターEDC-162が必要です。

①ACアダプターがEDC-162であることを確認します。
②スタンドのコネクタどうしを接続します。スタンドは最大4台まで連結できます。
③付属の接続ステーをスタンド底面の溝に合わせてスライドさせます。
　確実にスタンドどうしが固定されたことを確認してください。
④ACアダプターのコネクタを、端のスタンドのコネクタに接続します。
⑤ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
⑥トランシーバーまたはバッテリーパック単品を充電スタンドのポケットに挿入します。
　充電が開始され赤色ランプが点灯します。
　最大8台まで同時に充電することができます。
⑦充電が完了すると赤色ランプが消灯します。

各部の名前とはたらき

前面部

ディスプレイ

中継チャンネル表示
F 表示
秘話機能表示
キーロック表示
コンパンダー機能表示
減電池表示
送信インジケーター / S メーター表示
チャンネル、グループ番号表示
VOX機能表示
ベル機能表示

セットモード

各種機能を用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

①[FUNC]キーを押しながら[SET]キーを押します。
→セットモードに入り項目が表示されます。
②[SET]キーを押すごとに項目が切り替わります。
　[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
③▽または△キーを押して設定値を変更します。
④[PTT]キーを押して設定を完了します。

> **メモ** セットモードについての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。
> http://www.alinco.co.jp/「電子事業」

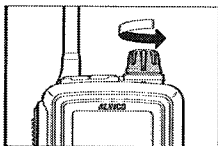
セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bt-AL	電池選択（アルカリ/Li-ion/Ni-MH）	AL/Li/ni	AL
CP-oF	コンパンダー（雑音低減）	OFF/ON	OFF
vo-oF	VOX（音声検知送信）	OFF/Lo/Hi	OFF
SC-oF	秘話	OFF/ON	OFF
bP-Lo	ビープ音量（操作音）	OFF/Lo/Hi	Lo
EP-on	エンドピー（送信終了音）	OFF/ON	ON
bL-oF	ベル（呼び出しお知らせ）	OFF/ON	OFF
LP-5	ランプ	OFF/5 秒 /ON	5 秒
PH-oF	PTT ホールド（送信保持）	OFF/ON	OFF
Pt-on	PTT オンオフ（送信禁止）	OFF/ON	ON
At-2	中継器接続手順	OFF/1/2	2
Er-on	イヤホン断線検知	OFF/ON	ON
Cb-oF	コールバック	OFF/ON	OFF
Po-Hi	送信出力（Hi：10mW / Lo：1mW）	Lo/Hi	Hi
EG-oF	緊急通報機能（[SET/E] 長押しで通報）	OFF/ON	OFF

基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

交互通話

電源を入れる

電源／音量ツマミを時計方向に回します。

音量を調整する

電源／音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。
▽キーと△キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。
適切な音量に調整してください。

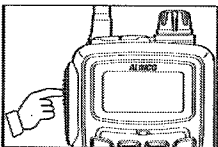
チャンネルを合わせる

▽または△キーを押して交互通話用チャンネルのL01～09、b01～11を選択します。
通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。
キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。

受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。
ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。
→[PTT]キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約5cm離してください。
　一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「ブブブ」が鳴り送信できません。
　[PTT]キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。

コールトーン機能

送信中に▽または△キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。
▽と△キーでは音色が異なります。

中継通話

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途、弊社製の中継器が必要です。

チャンネルを合わせる

▽または△キーを押して中継通話用チャンネルのL10～18、b12～29を選択します。
→「中継」が点灯します。

送信する

[PTT] キーを押し続けます。
→直後に「ピピ」という音が鳴ります。
[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。

> **メモ** お使いになる中継器の設定をご確認ください。
> 中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、
> 本機にもグループトーク機能を設定してください。

> **注意** 中継用チャンネルでは子機どうしの直接通話はできません。
> それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。
> 子機－中継器間、子機－子機間は10m以上離してください。
> お使いになる中継器の機種によっては接続がうまくおこなわれないことがあります。
> そのようなときはセットモードの中継器接続手順を変更してお試しください。

グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

ノイズ音や混信を低減する効果があります。

[GROUP] キーを押す

→グループ番号が点灯します。

グループ番号を合わせる

[FUNC] キーを押しながら▽または△キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。

グループ番号は 01 ～ 50 を選択できます。

送信する

[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。
→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

キーロック

キーロックしておくと誤操作を防止できます。

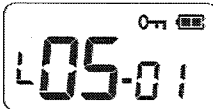
簡易キーロック（Loc1）

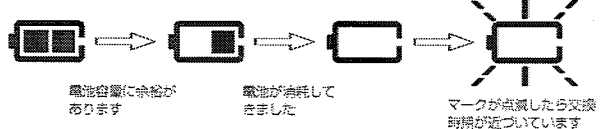
[FUNC] キーを約 2 秒押します。
→「Loc1」が点滅したあと「O┰」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

通常キーロック（Loc2）

[FUNC] キーと [GROUP] キーを同時に約 2 秒押します。
→「Loc2」が点滅したあと「O┰」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

減電池表示

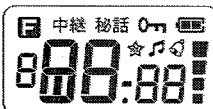
電池の残容量はディスプレイに 4 段階で表示されます。

「電源が入らない」「ON / OFF を繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられます。
新しい電池と交換してください。

しばらくご使用にならないときは、必ず電池を取り外してください。

> **メモ** 「電池選択（セットモード）設定が適正でないと正しいタイミングで電池交換時期を表示しません。

リセット

設定状態や操作がわからなくなったときに初期化します。

[FUNC] キーを押しながら電源を入れます。
→ディスプレイ全点灯中に [FUNC] キーを離します。
→工場出荷状態の L01 チャンネルになります。

その他の機能

**本書には記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
http://www.alinco.co.jp/「電子事業」
内容をよく理解してからこれらの機能をお使いください。**

デュアルオペレーションモード

メイン　サブの 2 つのチャンネルを 1 秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1 台のトランシーバーで 2 台のはたらきをします。

リモコンモード

本機をリモコンとして中継器のチャンネルなどを遠隔操作する機能です。本機能は中継器 DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112R に対応しています。

> **メモ** 誤ってこれらのモードに切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すと正常な状態に回復することがあります。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。充電池を充電してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に調整してください。
	チャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	グループ番号が違う。	同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。
	3 分の送信制限時間を超過している。	PTT キーを離し 2 秒たってから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
	充電池が専用品でない。	専用充電池 EBP-25NH、EBP-70 を使用してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

製造中止製品に対する保守年限に関して

**生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。
補修用部品の保有期間は生産終了後 5 年です。**

オプション一覧

EBP-25NH　ニッケル水素バッテリーパック
EBP-70　リチウムイオンバッテリーパック
EDC-109J　ツイン充電器セット（EBP-25NH 用）
EDC-115　シングル充電器セット（EBP-25NH 用）
EDC-158A　ツイン充電器セット（EBP-70 用）
EDC-158R　ツイン連結スタンド（EBP-70 用）
EDC-162　連結充電用 AC アダプター
EDC-184A　シングル充電器セット（EBP-70 用）
EME-6　ストレートコードイヤホン（オープンエアー型）
EME-26　カールコードイヤホン（オープンエアー型）
EME-50　ストレートコードイヤホン（耳かけ型）
EME-21A　イヤホンマイク（カナル型）
EME-21AB イヤホンマイク黒（カナル型）
EME-29A　イヤホンマイク（耳かけ型）
EME-57A　イヤホンマイク（カナル型／耳かけ）
EME-30A　イヤホンマイク（ブームマイク）
EME-31A　イヤホンマイク（マイクロスピーカー）
EME-51A　イヤホンマイク（耳かけ型）
EME-52A　イヤホンマイク（オープンエアー型）
EME-53A　ヘルメット用ヘッドセット
EME-34A　イヤホンマイク（カナル型）
EME-49A　イヤホンマイク（オープンエアー型）
EME-39A　咽喉イヤホンマイク
EMS-59　スピーカーマイク（PTT ホールド、VOX 機能使用不可）
ESC-61　ソフトケース

チャンネル表示

●交互通話

交互通話用の 20 チャンネルを搭載しています。（12.5KHz ステップ）

レジャー 9 チャンネル	ビジネス 11 チャンネル
L01（422.2000MHz）	b01（422.0500MHz）
～	～
L09（422.3000MHz）	b11（422.1750MHz）

●中継通話

中継通話用の 27 チャンネルを搭載しています。（12.5KHz ステップ）

レジャー 9 チャンネル	ビジネス 18 チャンネル
L10（421.8125/440.2625MHz）	b12（421.5750/440.0250MHz）
～	～
L18（421.9125/440.3625MHz）	b29（421.7875/440.2375MHz）

定格

項目		
送受信周波数	レジャーチャンネル	422.2000 ～ 422.3000MHz（交互）
		421.8125 ～ 421.9125MHz（中継受信）
		440.2625 ～ 440.3625MHz（中継送信）
	ビジネスチャンネル	422.0500 ～ 422.1750MHz（交互）
		421.5750 ～ 421.7875MHz（中継受信）
		440.0250 ～ 440.2375MHz（中継送信）
	制御チャンネル	421.8000/440.2500MHz
電波形式	F3E（FM）/F1D（FSK）	
送信出力	10mW ／ 1mW	
受信感度	-14dBu（12dB SINAD）	
音声出力	400mW 以上（本体スピーカー）／ 80mW 以上（外部出力）	
通信方式	単信 / 半複信	
定格電圧	DC4.5V（単三形乾電池 3 本）	
動作温度範囲	-10 ～ +50℃	
寸法	幅 54.8mm × 高さ 94mm × 厚さ 27.3mm（突起物除く）アンテナ上方向状態の全高さ 165.4mm	
重量	約 174g（単三形乾電池 3 本含む／ベルトクリップ除く）	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。